さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

平成31年２月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

主題
寒さに負けずに！

今月の保育のねらい
健康に留意し、寒さに負けず元気に過ごす

小さな春と耳を澄ませると聞こえてくる活動する子どもの息吹！

如月の月は多分、一年の中で最も寒い日と、小さな春の誕生を告げる日が交互にやってくる月になるでしょう。

霜柱や氷を見つける楽しさの一方で、ヒヤシンスの香りに触れたり、可憐に咲いた梅の花をそ～っと眺めたり、冬枯れの枝で河津桜や紫陽花のつぼみが膨らむ音が聞こえてきそうです。こうして、真冬と春のマーチを重ねながら優しい春へと季節がゆっくり移動していくことでしょう。

乳児の子どもたちの中には冷たい空気に寒さを感じると泣き出したりすることもあります。しかし幼児の園庭では、寒風を肌で感じながらも、風をきって躍動的に駆けまわったり、コマ回しを楽しんだり雲梯や鉄棒で全身を動かしてあそぶなど活動的な姿が見られます。

時季の自然に触れながら、それぞれの年齢にあった活動をしていきたいと思います。

先日、第44回保育総合研修会に参加しました『乳幼児期におけるアタッチメントの重要性と保育者の役割』の分科会での学びの一部をご紹介します。

アタッチメントの基本原則は、必要とされている時に、的を得て応じてあげられる存在であることです。

子どもとの関係性の基本

◆子どもにとって、大人は安心の基地・安全な避難所である。基本的にどっしりと構え、あちこち不規則に動き回らない。

◆子どもがシグナルを送ってきたら応える。

◆子どもが弱って帰ってきたら情緒的に燃料補給してあげる。

◆子どもが一人で没頭して遊んだり何かに取り組んでいる時、大人の側から子どもの方に極力、踏み込むことをしない。（「黒子」として支える）

◆心理的に寄り添いつつ、離れたところから「応援団」として温かく見守り、時折、声かけなどをしてエールを送り、子どもの自発的な活動を励ます。

これらのことは、言うまでもなく当たり前のことと意識していますが、園全体として実践していくことが重要です。子どもたちにとって、安心の輪がどんどん大きくなるように努めていきたいと思います。

２月　行事予定

日	曜日	内　　容
1	金	節分
7	木	バス遠足（4歳児・5歳児）
8	金	保幼小連携（5歳児講和小学校）
12	火	身体計測（乳児）おはなし会）
13	水	不審者対応訓練
14	木	身体計測（幼児）
15	金	さくらアートくらぶ（4歳児）
16	土	業者による園舎清掃
22	金	さくらアートくらぶ（3歳児）
23	土	入園内定児説明会＆面接
28	木	入園内定児健康診断 0歳児健診

※避難訓練は予告無しで行います

①７・14・21日⇒絵本貸出日
②６・13・27日⇒さくらんぼくらぶ
③６・27日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ
④13日⇒さくらんぼくらぶふれあいランチ
※７日⇒ニコニコフォト　撮影日…バス遠足

節分

節分とは、字のとおり季節の移り変わる時（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことですが、立春の前日の節分が一般的です。

子どもたちには、日本古来の伝承行事を保育の中で十分経験させてあげたいと思います。

当日は五歳児が炒った大豆で元気いっぱい豆まきをします。福の神からのおひねりに笑顔になることでしょう

卒園式のおしらせ

◆３月９日（土）に行います。
◆園全体でやしぐみの子どもたちの卒園をお祝いしたいと思いますが、式に参加する園児はくりぐみです。お休みをしないようご協力お願いします。
◆式に参加する保護者は、やし組の保護者の皆様です。

※保護者会へのご出席ありがとうございました。今後ともご協力よろしくお願いいたします。